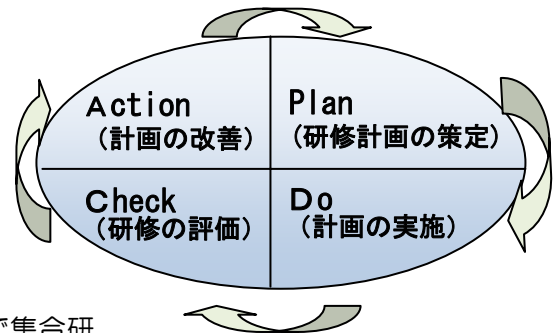


## ◆ 施設・事業所の概要 ◆

事業種別：特養、ショートステイ、  
 デイサービス  
 職員数：94人

## 【職場研修の運営サイクル】



## ご相談の内容

人権擁護について、特に虐待防止に関して職場内で集合研修を実施したいと考えていますが、効果的な研修の方法、進め方を教えてください。合わせて講師も紹介してください。

## 支援の内容

研修方法として、虐待防止に関するチェックリストや事例を基にワークシート等を活用した研修方法をアドバイスするとともに、講師については、研修目的や内容を踏まえ、複数の講師をご紹介しました。

また、人権擁護、虐待防止等のテーマに限らず、職務を離れた集合研修（OFF-JT）は、研修の実施自体が目的になりがちであることから、研修目標を明確にし、計画—実践—評価—改善のPDCAサイクルで進めるとともに、日常の職務を通じて行う研修（OJT）と意図的・計画的に関連付けながら行うことが大切です。さらに、講師や研修の進め方の工夫だけではなく、職場の経営理念等を踏まえ、どのような職場や職員を目指すのかを目標にした研修を行うことが大切であることをアドバイスしました。

また、職場内で集合研修を実施する際には、職員に事例発表やファシリテーター等の役割を階層に応じ担ってもらうことで、主体的に事前準備や当日の運営に関わることができ、職員育成の機会にもなることをアドバイスしました。

## 職場研修アドバイザーからの一言アドバイス

- 職場研修は、研修目標を明確にし、計画—実践—評価—改善のPDCAサイクルで進めることが大切です。
- 職務を離れた集合研修（OFF-JT）は、日常の職務を通じて行う研修（OJT）と意図的・計画的に関連付けながら行うことが必要です。
- 職場内で集合研修を行う際は、職員に事例発表やファシリテーター等の役割を担ってもらうことで、職員育成の機会とすることもできます。